

2. 家庭消費用ブドウの購入・消費の平均的スタイル（情報）			
[要約] ブドウの旬の時期においては、10日に1回程度、1回当たり500～1,000円の予算を基に1～2房を購入し、夕食時に4人家族の場合に1房を消費しているのが、ブドウの平均的な家庭消費スタイルである。			
研究室名	経営研究室	連絡先	0869-55-0546

[背景・ねらい]

果実販売価格の低下によって果樹産地の活力や担い手の生産意欲の低下が懸念されるとともに、果物消費量が減少するなかで産地間競争が激化している。そのため、産地では消費ニーズを的確に把握し、それに合わせた販売戦略の策定が重要になっている。そこで、消費者へのアンケート調査から、旬の時期における家庭消費用ブドウ（以下、ブドウと略す）の購入と消費のスタイルを把握し、販売推進上の参考に資する。

[成果の概要・特徴]

1. 旬（8～10月）の時期に消費者がブドウを購入する頻度は、平均11日に1回の頻度であった。居住地別には都市部よりも県内の消費者の方が頻度が高く、産地内に限れば3/4以上の消費者が週1回以上の頻度で購入していた（図1）。
2. ブドウを購入するための1回当たり予算は、500～1,000円とする消費者が6割以上を占め、平均726円であった。しかし、居住地別には都市部よりも県内の消費者の方が高額化の傾向にあった（図2）。
3. ブドウを消費する時間帯は、居住地に関わりなく夕食時が多かった（図3）。また、1回当たりに消費するブドウの量も居住地による大きな違いはなく、1人当たり5～7粒、多くても10～15粒の消費者が多かった（図4）。

[成果の活用面・留意点]

1. 行政や販売担当者がブドウの消費拡大を進める上での基礎情報になる。
2. 産地で出荷形態を考えていく上での参考になる。

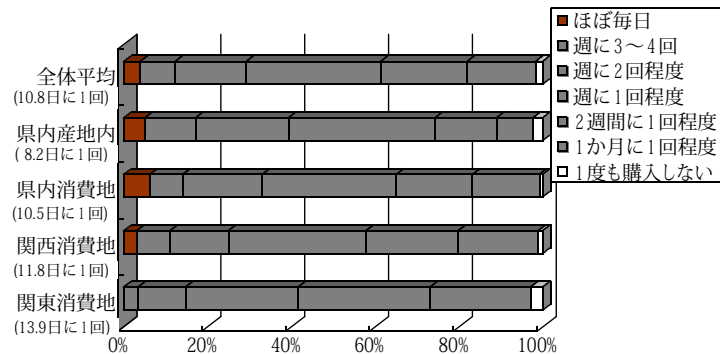


図1 居住地別にみる家庭消費用ブドウの購入頻度
 注) 2003年8～9月に山陽町(県内産地内)、岡山市(県内消費地)、宝塚市(関西消費地)、東京都港区(関東消費地)の4か所で1,050人の消費者を対象に実施した結果である。
 図2～4も同じ。

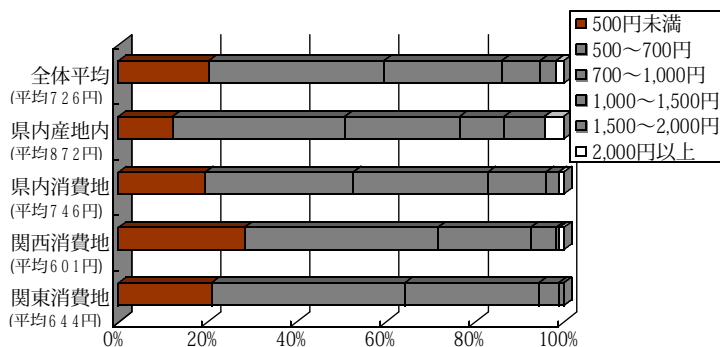


図2 居住地別にみる1回当り家庭消費用ブドウの購入予算

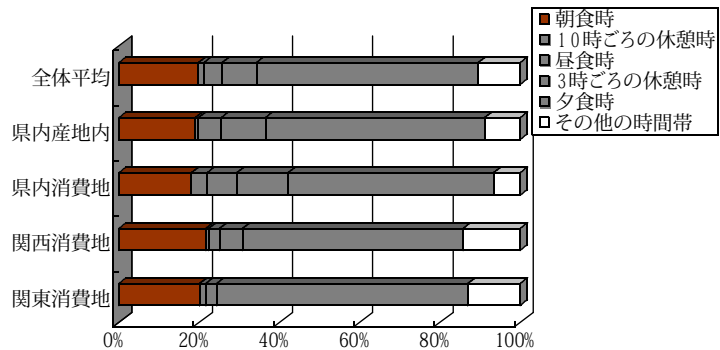


図3 居住地別にみるブドウの消費時間帯

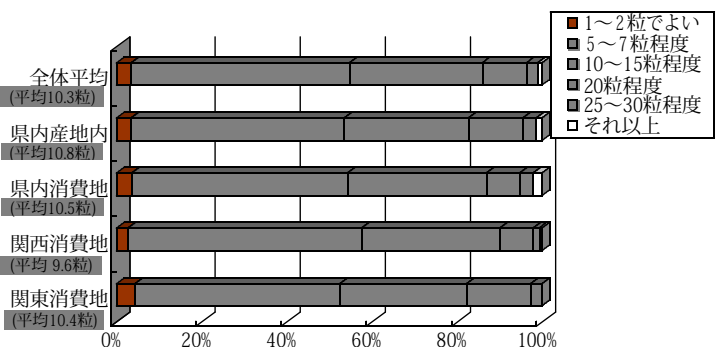


図4 居住地別にみる1回当たりのブドウ消費量

[その他]

試験研究課題名：消費ニーズを捉えた高付加価値果樹生産・販売システムの確立

予算区分：県単

研究期間：平成14～16年度

関連情報等：なし